

○事業所名	東京都北区立児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和 7年 9月 16日		令和 7年 11月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	令和 7年 9月 16日		令和 7年 11月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 12月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域障害児支援体制中核拠点としての役割	<p>地域の中核拠点としての機能を果たすため、今年度強化した点</p> <p>＊毎日通所であったクラス療育を、幼稚園等との併用利用を可能にし、併用児の所属園への訪問や情報交換などを行うことで、移行支援・地域支援がより充実した。</p> <p>＊地域支援事業やスーパーバイズコンサルテーションなどの実施に関して、夜の開催回数も設定するなど、各事業所等が参加しやすくなるよう工夫している。</p> <p>＊9月に地域向けの行事『さくらんぼまつり』を実施し、センターの存在・役割等を周知することで、地域とのつながりの強化を図った。</p>	<p>＊子どもの様子・家庭や所属園の状況等に合わせて、無理なく移行支援・地域支援を進めていけるよう連携を強化していく。</p> <p>＊各事業でいただいたご意見・アンケート結果等を活かし、各事業所等のニーズに対応していく。</p> <p>＊行事に限らず、地域とのつながりを強化していくための方法を今後も検討していく。</p>
2	地域の幅広い療育ニーズに対応する様々な利用方法	<p>＊クラス療育の併用利用実施に伴い、週1日など通所日数の選択が可能となり、家庭状況等に合わせて利用できるようになった。</p> <p>＊OT・ST・PTの個別専門療育のみでも、空き状況によって利用可能。</p>	<p>＊今後も自己評価のアンケートや個別面談等の機会を活用し、保護者のニーズを把握して対応していく。</p> <p>＊個別専門療育はなかなか空きが出ないため、クラス療育の子どもと個別のみの子どもで利用枠を調整し、受け入れを広げていく。</p>
3	多職種連携による支援の充実	<p>＊クラス療育の担当者（保育士・児童指導員）だけでなく、心理・OT・ST・PTが連携して支援にあたっている。</p> <p>＊多機能施設である利点を生かし、保育所等訪問支援や障害児相談支援の各担当者とも連携を図っている。</p>	<p>＊引き続き各職種間での連携を図り、チームでアプローチしていく。</p> <p>＊センター以外の各関係機関とも連携を深めていく。</p>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	兄弟支援が少ない	<p>＊スペース・時間・人員の確保ができないため、直接的な兄弟支援のイベントを実施するのは難しい状況にある。</p> <p>＊同様の理由で、日常的にも療育時間中に兄弟の保育を行うのは難しい。</p>	<p>＊家族支援として、兄弟関係の相談にも対応している。相談内容に応じて、相談支援専門員や保育所等訪問支援の担当者につなげていく。</p> <p>＊クラス療育での兄弟の保育は不可だが、個別専門療育は保護者の責任のもとで兄弟の同席が可能である。</p>
2	各種お知らせ等の配布状況のばらつき	<p>＊併用の週1日や個別専門療育のみで月1～2回の利用の場合、通所の間隔が空いていたり急病や都合で欠席となった時などは、お知らせの配布が遅れてしまう。</p> <p>＊アプリ等の新しいシステムを導入するのは難しい。</p>	<p>＊欠席の連絡を受けた際に配布物の内容を説明したり、次の通所日まで間隔が空く場合は郵送などの対応も行う。</p> <p>＊出欠確認や申し込みが必要なお知らせの場合、次の通所日では提出が間に合わないこともあるため、QRコードでの入力提出もできるようにする。</p>
3	地域との交流が少ない	<p>＊他施設との交流は、区立のこども園や地域の事業所と年に数回行っているが、日々の療育を積み重ねるため頻繁に行うのは難しい。</p> <p>＊自由に入出入りできる施設ではないので、地域の方々へセンターの存在が広まりにくい。</p>	<p>＊日常の療育とのバランスを取りながら、交流の機会を作っていく。</p> <p>＊9月に地域の方々に参加してもらえる行事として『さくらんぼまつり』を実施し、多数の来所があった。今後も地域の方々へセンターの存在・役割を周知していくための方法を検討していく。</p>

事業所名 東京都北区立児童発達支援センター

公表日 令和 7年 12月 24日

利用児童数 令和 7年 9月 1日 57名 回収数 34名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	3			<ul style="list-style-type: none"><li>・のびのび動ける。</li><li>・普段の教室以外にも長い廊下で活動したり、広いホールやお庭もあるので十分だと思います。</li><li>・人数が増えてから部屋が狭い。</li></ul>	・療育室の整理整頓を心がけ、限られたスペースをなるべく広く使えるように工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	2	1		<ul style="list-style-type: none"><li>・何をもって適切なのか分からないが目が届いていない時がある。</li><li>・他の施設を見たことがないのでわかりませんが、職員がもう一人いると安心です。（2歳児クラス）</li><li>・先生が多いので、安心して屋外のお散歩や運動遊びも安心して任せられる。</li><li>・ベテランの先生なので運営できるぎりぎりの人数だと思います。</li><li>・手厚く見ていただけて安心です。</li></ul>	・クラスの出席人数や活動内容によって、活動時間ごとに必要な職員数を判断し応援体制を組むなど、柔軟な対応をしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	1			<ul style="list-style-type: none"><li>・安全安心</li><li>・1日の流れの写真を使って子供たちに説明してるのがわかりやすくてとても良い。</li><li>・どこも綺麗です。トイレもすごく綺麗です。</li><li>・清掃が行き届いていて、安心して過ごせます。</li><li>・よく対応してくださっていると思います。</li><li>・あらゆる部分が布で目隠しされているので、子どもが集中できる環境になっていると思います。</li></ul>	子どもが生活や活動の流れに見通しを持ったり、気持ちを切り替えるきっかけになるよう、写真や絵などの視覚的な手がかりを活用しています。また、子どもの集中力を削がないよう、整理整頓を心がけ必要のないものには目隠しをしたり、装飾を少なめにしたりしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34				<ul style="list-style-type: none"><li>・とても清潔</li><li>・部屋はもちろん、おもちゃもいつも清潔で清掃に時間をかけている感じがする。</li><li>・いつも綺麗でありたいです。清潔に保たれていると思います。</li><li>・清掃の方が常にお掃除してくれている印象です。中には何でも口にしてしまうお子さんもいるかと思うので、配慮が行き届いていると感じいつも感謝しています。</li></ul>	利用する親子が気持ちよく過ごせるよう、引き続きこまめな清掃と、換気や消毒等の感染防止対策に努めています。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	2		1	<ul style="list-style-type: none"><li>・さすがだと感じるが多い。</li><li>・1人1人の特性を理解されていて、それに見合った支援がされていると思う。</li><li>・希望したことをすぐ実践していただいで満足しています。</li><li>・専門療育のおかげで出来る事が増えてきたと思います。</li><li>・個別療法も受けられるので助かります。</li></ul>	一人ひとりの特性や発達段階、家庭のニーズ等に合わせた支援を充実していくため、担任だけでなく心理・OT・ST・PTといった多職種で、連携して支援にあたっています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1		5	<ul style="list-style-type: none"><li>・よく分からない。</li></ul>	各クラスでは、クラスだより等で活動のプログラムやねらいをお知らせしています。また、ホームページでは全体的な支援プログラムを公表していますので、ご参照ください。

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	1		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりとヒアリングしてくれる。</li> <li>・支援計画を作るのにたくさんの時間を作っていただけて、お話できるので、濃密な支援計画の作成ができる。</li> <li>・子どもの生活を細かく観察した上で計画を立てていただいています。</li> <li>・専門療育で、今この活動で何を見ているのかが少々わかりづらい時がある。</li> </ul>	個別支援計画作成の際には、お子さんの発達の様子や課題などについて、ご家庭と共通認識のもとで作成できるよう配慮しています。ご意見を伺う場としては定期的な個別面談のほか、保護者のご都合・お時間に合わせて面談・電話・書面など柔軟に対応していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30			4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩みに沿って対応してくれる。</li> </ul>	個別支援計画の目標や支援内容には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」それぞれの視点が盛り込まれています。まだ幼稚園や学校等への移行が目前に迫っていないお子さんも、集団生活に必要なスキルを身につけていくことなどが移行への準備（支援）になっています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33			1	そのおかげで成長が感じられます。	個別支援計画は、子どもの成長に合わせて見直しをしていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	2		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨機応変に感謝している。</li> </ul>	子どもの興味関心を引き出し、能動的にプログラム参加できるよう、今後も工夫を重ねていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20	3	4	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流しているのを見たことがない。</li> <li>・とくにそのようなプログラムがあるとは聞いておらず現状では分かりません。</li> <li>・息子の発達が、まだ他所と十分に交流できる段階ではないかもしれません。</li> <li>・交流できるような催しは近隣でありませんが、子供の特性上なかなか参加できていません。</li> <li>・公立幼稚園やこども園との交流の場があるようです。併用利用のため、参加できる機会がなく残念です。</li> </ul>	みかん組では年に数回、他の事業所と交流会を行ったり、公立幼稚園の園庭に遊びに行ったりしています。また、日々の活動の散歩では、近隣園のお子さん達と道であいさつしたり、公園で一緒になった時には遊具で遊ぶ順番を譲り合うなど、触れ合いの場面も見られます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会あり</li> <li>・書類の内容が聞き慣れない専門用語を使っており一般的には分かりにくいとちゃんと説明して頂きました。</li> <li>・負担額がどの程度か最初は分かりませんでした。結果的に、たくさんの補助を受けて通わせていただいていることがわかり感謝しております。</li> </ul>	重要事項説明などの際、聞き難い用語もあるかと思います。わかりやすい説明を心がけていますが、ご不明な点などがありましたら、いつでも職員にお尋ねください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34				<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に説明してくれる。</li> <li>・とても丁寧です。</li> <li>・毎回丁寧に説明してくださいます。</li> </ul>	個別支援計画の作成・変更の際には、必ず保護者に説明し同意を得るようにしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	2	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とてもありがたい。</li> <li>・案内がよくあります。</li> <li>・自分自身が予定が合わないだけかもしれませんが、あんまり情報提供、という活動は少ないかなと思います。違ったらすみません。</li> <li>・保護者会や親向けの情報提供の機会はあるようだが、研修会のような学びの時間はなかったと思います。</li> <li>・情報は遅いと思う。交流会は増やして欲しい。</li> <li>・案内が配られたりします。</li> </ul>	家族支援事業として、各種講演会等を実施しています。お知らせを配布していますが、通所の機会が少ない方には手渡しでの配布が遅れてしまう傾向にありました。より多くの保護者に参加してもらえよう、療育を欠席した方にはお知らせを郵送するなど、周知の仕方を工夫していきます。

保 護 者 へ の 説 明 等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	30	2		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に共有してくれる。</li> <li>・先生方から積極的に声をかけていただけるので、どんなことでも話しやすい。</li> <li>・連絡帳以外にも電話で報告して下さる事が、有り難いです。</li> </ul>	子どもの特性・発達段階・目標・課題点など、保護者と共通認識の下で支援していくことを常に意識しています。日々の様子を連絡帳や電話でお伝えしますので、ご家庭からも変化や気付きなどがありましたら、いつでも職員にお話しください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイス、提案も多く、一緒に向き合ってくれる。</li> <li>・相談に乗っていただけるので有難いです。</li> </ul>	定期的な個別面談のほか、子どもの発達に関する悩みや家庭での困りごとなど、保護者からの相談は随時受け付けていますので、いつでも職員にお申し出ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任はもちろんですが、担任外の先生や職員の方も子どもや親を気にかけて下さっていて、温かさを感じます。</li> <li>・親身に相談に乗ってくださり、ありがとうございます。</li> <li>・担任の先生以外も状況を把握して支援してくださっているのが分かります。</li> </ul>	今後も、一人ひとりに寄り添った支援を心がけていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	29	2		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兄弟への支援は不明</li> <li>・定期的に開催されています。土曜療育があるのは有り難いです。</li> <li>・現時点ではそのような案内は分かりません。</li> <li>・どちらともいえない</li> <li>・きょうだいおりませんので、回答は控えさせていただきます。</li> <li>・普段参加できない夫や両親が、子どもの園での様子を見られる機会があり有難いです。</li> <li>・あまり開催されていない認識です。</li> <li>・併用利用のため、保護者の方とお会いする機会が少なく、残念です。</li> <li>・兄弟がうちにはいないので、兄弟への支援がよく分からないです。</li> </ul>	保護者懇談会や保護者支援事業など、保護者が集う場を設定していますので、その機会に交流を深めてもらえればと思います。きょうだい同士の交流の場は設定していませんが、きょうだいを含めた家族全体を支援していくため、いつでもご相談に応じますのでお申し出ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	1		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談には早急に対処、しっかり返答をくれる。</li> </ul>	相談等のお申し出があった場合には、早急に対応するように心がけています。面談や電話でのお話など、ご都合に合わせて対応します。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	1				子どもには簡潔にわかりやすい言葉や視覚的ヒントを用いてやりとりし、保護者への説明などは、専門用語ではなく具体的に説明するように心がけていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	2	1	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さくらんぼ祭りの情報が遅く、参加できなかった。</li> <li>・何か更新や新しい物があつた時にアプリなどで知ることができれば良いと思いました</li> </ul>	各種お知らせについては、手渡しができなかった場合は郵送したり、別の形での周知についても検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	2	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったことはない。</li> </ul>	個人情報、厳重な管理のもと取り扱っています。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1		10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練に参加していない。</li> <li>・感染症対策は消毒を徹底されていなかった。その他は、実際目にしてないのでよく分からないです。</li> <li>・まだ訓練を受けたことはありません。</li> </ul>	各種マニュアルは事務所に掲示しているのとおり、所内で閲覧することができます。訓練は職員が行うもの、利用者にも参加してもらうもの（避難訓練・救急法など）がありますが、ご利用の頻度によって日程が合わない場合があります。緊急時に速やかに対応できるよう職員が訓練を積み重ねていますので、ご安心ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	2		9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点で母子通所をしている日にそのようなプログラムはありませんが不定期に通所しており既に行われているのかもしれない。</li> <li>・避難訓練は行われてると思います</li> <li>・やはり実際に行われてるのをみたことがなかったので、</li> </ul>	避難訓練は、年に数回センター全体で行うものについては、クラスだよりに掲載しています。全体の訓練がない月は、クラスの中で小規模で行う場合があります。通所頻度によって参加できない場合がありますが、職員が避難誘導の訓練を積み重ねていますのでご安心ください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	2		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・されたと思うが記憶にない。</li> </ul>	契約時に、重要事項説明書で安全計画について説明していますので、ご参照ください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1		9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子通所のため、自ら目にしてるので、そのような場面を見たことがなく分かりませんが速やかに対応いただけると思っています。</li> <li>・小さな事でもご報告いただいています。</li> </ul>	怪我をした時などは、速やかに保護者へ連絡するよう心がけています。怪我以外にも、何か変わった様子があった場合には連絡帳を活用したり、電話や送迎時に直接お話しするなどしてお伝えしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもはもとより私自身が安心している。</li> <li>・居場所の1つと認識しているようです。先生方を信頼していると感じます。先生方がみなさんとても良くくださるので大満足です。さくらんぼ園に通わせて良かったと思っています。</li> <li>・泣いていることが多いのでまだ慣れていないと思う。</li> <li>・こちらの児童発達支援センターに自分から行きたいと言ってます。</li> </ul>	アンケートへのご協力、ありがとうございました。ご利用している親子にとって、療育・さくらんぼが『安心して過ごせる場』『いろいろなことを吸収して成長していける場』『何でも相談できる場』となるよう、今後も努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	2		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しそうにしている。</li> <li>・通所日は喜んで支度をしています。</li> <li>・既にうちは子ども園通園になり、STとOTのみになりましたが、やはり毎日通所した時は楽しみにしていました。</li> <li>・毎日色んな活動があるので楽しそうです。</li> <li>・とても楽しく通えています！</li> <li>・まだ通い始めたばかりですが、少しずつ笑顔が増えてきたと思います。</li> <li>・とても楽しみにしてるし、先生方も大好きで楽しく通ってます。</li> <li>・発語がないため分からない。</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方がすばらしい。</li> </ul>	

事業所名		東京都区立児童発達支援センター				公表日	令和 7年 12月 24日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・各部屋できるだけ遊具等を片づけ、廊下やOT、ST室なども活用するなど、限られたスペースを調整して使用している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・定数を満たした配置をしているが、その日の状況・活動内容により応援職員が必要な場合は、朝の会で声を出しあい、児童に影響がない配置となるよう心掛けている。またボランティア等活用してより安全や内容の充実に努めている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・限られたスペースを工夫し、分かりやすく使用している。	・メリハリがつくよう、可能な限り、生活の部屋と各活動を行う部屋を分けて使用する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・利用する子ども・保護者が生活しやすいよう日々環境設定を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別対応が必要な場合（クールダウンを含めて）あいている部屋で対応ができるようにしている。	クールダウンの部屋が空いていない時は、廊下やソファを使用する場合がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・業務に関する問題点を話し合い、業務改善に活かされている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・自己評価を毎年行い、保護者から出た意見等を反映して療育や業務に活かしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎日の朝礼、まとめ、個別支援検討会等は職員が議題をあげられる場であり、職員間での意識向上や業務の見直し・向上につながっている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・3年に一度、第三者評価を受け、指摘事項等の改善を行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・スケジュールを調整しながら、所全体で協力して研修等を受講できている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムは、ホームページ上で公開している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・年二回個別支援計画の作成にあたって保護者にアセスメントを行っている。		

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・クラス会議や個別支援計画打ち合わせなどで共通理解を図っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・クラスや児発管の共通認識の下で作成された個別支援計画は、担当以外の職員もPCやケースファイルでいつでも確認できるようにになっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の振り返りの中で確認された行動・特性・反応・適応状況などは、クラスまたは個別のファイルに記録している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		各項目ごとに計画を設定するのではなく、子どもに合わせた目標や支援内容を設定する際に、それぞれの項目の視点が含まれているかを計画書のチェック欄で確認するようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・年間計画の他に、毎月クラスで子どもの状況に合わせた内容になるよう話し合いの機会を設けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・活動が固定化しないように気を付けているが、あえて同じ療育内容（1週間単位）を繰り返すことで、そのプログラム内容が子どもに積み重なっていくという効果をねらうこともある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別専門療育については専門的支援実施計画書を作成し、個別支援計画とともに保護者に確認している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日朝礼を行い、体制等の確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・毎日のまとめの集会で振り返りをしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・療育全体の日誌、クラスの記録、個別の記録に記載し、検証や改善が必要な時には対応している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的な個別面談のほか、随時保護者と話をする機会を作り、子どもの成長の様子や支援内容の振り返りを行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・相談支援事業所とのやり取りは、電話や来所して対面で行うなど、相談支援事業所のやり方に合わせて対応している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて、通院に同行して話を伺ったり、就学相談の依頼で資料を作成するなどの連携を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者の了承のもとで、クラス担任が幼稚園や保育園と連絡を取ったり直接訪問するなど、状況に合わせた移行支援の連携を行っている。 ・保育所、幼稚園職員向けの研修を行っている	



関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・年度末に特別支援学校の先生と、就学に向けた情報交換会を行うことがある。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○		・年3回程度、区内の事業所や関係機関との実務者会議を行い、北区での課題やお互いの情報交換を行っている。 ・スーパーバイズコンサルテーション事業として、講演会や事例検討会なども実施している。	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・OT、ST、心理職員より日々フィードバックを受ける他、定期的な研修(専門機関等を含む)には職員が参加している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・自立支援協議会には、相談支援部会のメンバーとして参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・3、4、5歳児のクラスが、年に数回こども園や他の事業所との交流を行っている。	
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・来所時に直接話をするほか、日々電話や連絡帳を活用し、共有を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・センターの事業として行っている講演会やペアレントトレーニングなどを案内している。	個別専門療育のみ利用している場合、通所日が限られているため、周知が遅くなってしまうことがある。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に重要事項として説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・年2回の定期的な個別面談を行っている他、必要に応じて随時面談する機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画の作成・変更を行った際には、必ず保護者へ説明し同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・年2回の定期的な個別面談に限らず、必要に応じて随時面談の機会を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者懇談会を各クラス年間2回程度実施している。また、保護者参加の機会を作り、保護者同士で顔を合わせる機会を作っている。	・きょうだい同士の交流を目的としたプログラムは行っていないが、きょうだいを含めた家族支援として、家庭での困りごとなどの相談を受け付けている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・年2回個別面談を行ったり、必要に応じて随時面談を行っている。早急に対応が必要な申し入れには、応援体制を組んで対応するなど、クラス運営に支障がないよう全体で協力している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・クラスだより、保健だよりを毎月発行している。年に数回、写真等を使用して、行事やクラス療育の活動報告を行っている。	・クラスだより等は印刷したものを渡しているため、通所の機会がないと渡すのが遅れてしまうことがある。今後、他の周知方法についても検討していく必要がある。 ・写真掲載は、保護者の了承を得て行っている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		情報セキュリティの研修を行うなど、個人情報の保護に努めている。	



	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵や写真を活用するなど、視覚的にわかりやすい工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域との交流や各事業の紹介等を兼ねて、9月にさくらんぼまつりを実施した。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを作成し、避難訓練や感染症研修（シュミレーション）などを実施している。各種マニュアルについては、いつでも閲覧できることを事務所に掲示している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、研修等を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・入所時に面談や嘱託医の診察で確認する他、単独通所開始前にも面談して確認を行い、対象児がいれば全体周知している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがある子どもの受け入れや給食での対応についてはマニュアル化している。	・現在アレルギーのある子どもはいないが、給食は外注でアレルギー食の対応が難しいため、状況に合わせた個別対応（おかずのみ持参など）を取っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づき、毎月の設備チェックや日々のさんぽ等の外出予定の提出などを行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・緊急時対応マニュアルフローチャートが事務所に掲示されている。	・契約時に重要事項説明書にて安全計画について周知しているが、取り組み内容の詳細までは説明できていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・毎日のまとめで確認し、記録にも残している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会等の研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・契約時に説明し、個別支援計画にも記載している。	